

環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト

S-13 H29年度 公開成果発表会

持続可能な沿岸海域実現を目指した 沿岸海域管理手法の開発

きれいで、豊かで、賑わいのある持続可能な沿岸海域実現を目指し、統合的沿岸海域モデルを構築するため、5つのテーマについて15の研究機関が連携して研究を行っています。



園の洲(香川県丸亀市沖・干潟・2013年4月香川大学瀬戸内圏研究センター撮影)

参加費
無料

2017年

11月21日(火) 10:00~17:30

A P新橋虎ノ門 11階A

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-15 NS虎ノ門ビル(日本酒造虎ノ門ビル)

定員 先着100名



〔主催〕 環境省「環境研究総合推進費」S-13プロジェクト:公益財団法人国際エメックスセンター

詳細はHPをご覧ください <http://www.emecs.or.jp/s-13/>

参加費
無料

プログラム

- 10:00 ~ S-13 全体紹介 柳 哲雄 国際エメックスセンター
- 10:15 ~ テーマ1 閉鎖性海域・瀬戸内海における栄養塩濃度管理法の開発
 栄養塩濃度管理法開発 西嶋 渉 広島大学
 干潟・藻場の栄養物質循環・生物再生産に果たす機能の解明 多田 邦尚 香川大学
- 10:50 ~ テーマ2 開放性内湾が連なる三陸沿岸海域における沿岸環境管理法の開発
 遷移する沿岸環境監視とそれを応用した沿岸海域管理法開発 小松 輝久 横浜商科大学
 森-川-海の栄養物質輸送機構の解明 門谷 茂 北海道大学
 森-海の物質輸送に果たす有機物の役割解明 吉村 千洋 東京工業大学
 森-海の物質輸送に果たす有機物の役割解明 西村 修 東北大学
- 13:00 ~ テーマ3 陸棚・島嶼を含む国際的閉鎖海域・日本海の海域管理法の開発
 国際的閉鎖性海域の管理法提案 吉田 尚郁 環日本海環境協力センター
 日本海環境変動予測モデルの構築 森本 昭彦 愛媛大学
 日本海環境変動予測モデルの構築 広瀬 直毅 九州大学
 日本海高次生態系モデルの構築 郭 新宇 愛媛大学
- 14:05 ~ テーマ4 沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示
 生態系サービスの経済評価 仲上 健一 立命館大学
 沿岸海域三段階管理法提案 日高 健 近畿大学
 人文科学的考察に基づく市民と沿岸海域を結ぶ物語の発見・構築・継承 印南 敏秀 愛知大学
 対馬・五島の海洋保護区における漁業活動調整 清野 聡子 九州大学
- 15:30 ~ 総括、テーマ5 沿岸海域管理のための統合数値モデル構築
 沿岸海域管理のための統合数値モデルの構築 柳 哲雄 国際エメックスセンター
- 16:30 ~ 総合討論
- 17:30 終了



【会場案内: AP新橋 虎ノ門】

- <JR線をご利用の場合>
「新橋駅」日比谷口から徒歩8分
- <都営三田線をご利用の場合>
「内幸町駅」A4a出口から徒歩3分
- <東京メトロ銀座線をご利用の場合>
「虎ノ門駅」9番出口から徒歩3分
- <東京メトロ千代田線をご利用の場合>
「霞ヶ関駅」C3出口から徒歩4分

【参加申し込みについて】

参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上
 国際エメックスセンターへメール又はFAXでお申込みください。
 * 定員(100名)に達し次第、締め切ります。

環境研究総合推進費 S-13 公開成果発表会 参加申込書

お名前	所属	役職等	電話	E-mail



【お問合せ・参加申込先】

(公財)国際エメックスセンター (担当:大輪)
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号 人と防災未来センター 東館5階
 TEL 078-252-0234 FAX 078-252-0404 E-mail secret@emecs.or.jp

HP <http://www.emecs.or.jp/s-13/>